



1st community わたらせ“だより”

発行 古河第一地区コミュニティわたらせ
広報部会
2023.9.1

防災訓練実施

この訓練は、地震等の災害発生時に地域住民、学校及び市、災害関係機関と協力して、地域防災活動の円滑化を図るとともに、協力体制を強化し、地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的として実施いたします。

地球温暖化により、想像しなかった災害が世界中あちこちで発生しています。ぜひこの訓練を通し、少しでも防災意識を高め、家族のため・地域のために、日頃の備えができるようにと願っています。皆様のふるってのご参加を心よりお願い申し上げます。

日時	令和5年10月14日(土) 午前9時～12時30分
受付	午前8時45分～9時
会場	古河第一小学校 校庭・体育館・駐車場
内容	1) 消火器使用訓練 2) 煙体験訓練 3) 起震車体験訓練 4) 災害伝言ダイヤル操作訓練 5) AED 訓練 6) 応急救護訓練
参加申込	各自治会長に申し込み下さい 詳細は自治会長を通じてご案内いたします
主催 関係機関及び	古河市第一地区コミュニティわたらせ 及び協力機関 古河市・古河西南広域消防署・古河市消防団 (団本部・第1分団・第2分団・第4分団・第5分団) 古河第一小学校・NTT東日本他

窓口担当 井上 関
会長 松井 小出
副会長 井上 関
事務局 井上 関

第1地区コミュニティ自治会紹介

part34 小砂町 part35 弥生 part36 西の台

小砂町

小砂町の歴史は古く、江戸時代中期の城絵図には古河城丸の内に「小砂町」の地名が記されています。三ノ丸と丸の内という場所で古河藩重臣屋敷が立ち並び、跳ね橋御門という門があった場所でした。

元々小砂町は、桜町自治会内にありましたが、渡良瀬し尿処理場（現在は廃止）の建設問題を端に発し、1953年に桜町より分立し現在に至っています。

昨年惜しまれながら亡くなった俳優の「渡辺徹さん」が住んでいたのも小砂町だ、というのも大変有名です。徹さんが子供のころ「太陽のほえろごっこ」をして遊んだのも小砂町の土手だったそうです。

写真映えする渡良瀬処理場と古河城御三階櫓の1/2サイズの「平成古河城」が라운드マークとして存在する自治会です。

弥生

この弥生自治会は、桜町の南東側と長谷町西側に隣接している61世帯からなる自治会です。近くには長谷観音や一向寺がある閑静な住宅地であります。

昭和45年に南長谷より分離して弥生自治会が発足されました。名前の由来はいくつかありましたが特定できておりません。

古河第一小学校学区内で、一番低い土地にある自治会ということで、各班へハンドマイクを配備したり、防災・防犯のための防犯カメラを十数台設置したり水害への備えを積極的に行っています。

また高齢者の多い自治会で、みまもり活動も重視しております。

西の台

西の台自治会は、南長谷町の最も西側の数世帯が南長谷町に属して始まりました。その後、昭和50年代に国道354号線が開通したため南長谷町自治会から分割し、当時の住所-南長谷町西の台〇〇番地-から西の台自治会となりました。

自治会東側には、明治初期に廃寺となった古河公方ゆかりの永仙院（ようぜんいん）があります。永仙院は初代古河公方足利成氏が鎌倉・円覚寺にゆかりのある乾亨院として建立し、四代目晴氏の時に永仙院と改称されたと考えられています。

江戸時代後期に書かれた「許我志」「古河志」には、成氏から義氏までの歴代古河公方の位牌が置かれ、徳源院・松月院とともに「足利開基三ヶ院」と称されていたと紹介されています。

また現在の永仙院後には、二代目公方足利政氏が招いた医聖田代三喜の供養塔。また後に鎌倉円覚寺で官長を務め大仏殿・舍利殿の建立を果たすなど円覚寺中興の祖とされる三伯（さんぱく）・天甫（てんぽ）ふたりの大和尚の墓もあります。



永仙院

今回で第一地区内36自治会の紹介がすべて終了いたしました。広報という限られた紙面の中で紹介しきれなかったところが多くありますが、また機会がありましたらご案内させていただきます。皆様方にはご愛読いただき本当にありがとうございました。